

株式会社NBSマネジメント

代表取締役

武田 康介

広島県出身。上京後、バンド活動の傍らデザイナーとして広告物を手がけ、30代でビルメンテナンス業に転身。米ケミカル製品を独自に研究・導入し業界に革新をもたらす。(株)NBSマネジメントを設立し、現在はドローンや清掃ロボットも活用しながら、人とテクノロジーの共存をテーマに清掃業界の変革に挑み続けている。

進取に富むクリエイティブ精神で 清掃業界の常識を覆す挑戦者

アメリカ製品の独自研究や清掃ロボット・ドローンの活用など、先進的な取り組みで清掃業界に新たな風を吹き込む株式会社NBSマネジメント。日本の衛生観念や文化を深く理解し、後世につなげる武田康介代表取締役の挑戦に、俳優の名高達男さんが迫った。

Guest Comment



名高 達男 (俳優)

日本の衛生文化への深い理解と、最新技術の活用。そして広島県のご実家が営む建具店のブランディング構想と、さまざまな視点から可能性を追求されている武田社長の姿勢に圧倒されました。これからも、武田社長ならではの信念を胸にこれまでにない発想を生み出し、清掃業界のイメージを一新するとともに、古き良き日本文化を支えていってください!

異色の経験を経て清掃業界へ

名高 武田社長は広島のご出身だそうですね。上京するまで、どんな青春時代を過ごされていたのですか？

武田 中学3年生の頃、家にあったクラシックギターを弾き始めたのがきっかけで、高校に入ってからロックに強く惹かれていきました。バンドを組んでコンテストで賞をいただいたり、5000人収容の大ホールで演奏させてもらったりする中で、都会への憧れが強くなり、お金を貯めて上京したんです。

名高 本格的に音楽で生活していきたいという思いが強くなったんですね。

武田 そうですね。レーベルからのCD販売やラジオ出演など、さまざまな挑戦を

続けていました。ただ、30歳を目前に母親が病気で亡くなりまして。これまで自分の好きなことを自由にやっていたから、今後は社会的なキャリアを積んでいけるような仕事をしようと決意したんです。それで、CDやフライヤーを自分でデザインするうちにグラフィックの面白さに気づき、飲食店のパンフレットや電車の中吊り広告の作成など、フリーランスのデザイナーとして4年ほど活動しました。

名高 分野は異なれど、クリエイティブな経験を存分に生かせるお仕事ですね。

武田 ええ。ところが、今度はデジタル技術の進化により、スマホのアプリで誰でも手軽にデザインができる時代になって、危機感を覚えるようになっていった

んです。そんな中、夜間清掃の求人を見つけまして、もともと夜型だったこともあり、軽い気持ちで始めてみたんです。すると、ありがたいことに自分の仕事が評価され、責任ある立場を任せてもらえるようになりました。それからは、業界の構造や施工方法を分析し、従来の価値観にはなかった手法を取り入れることに成功しまして、その勢いそのまま、2016年に当社を設立したんです。

独自研究で業界に革新を

名高 独立して10年、NBSマネジメントさんはどのような強みを発揮してこられたのでしょうか？

武田 当社の大きな特長は、アメリカのケミカル製品を活用し、独自の研究を重ねてきた点にあります。例えば、大手スーパーの床面清掃にそのケミカル製品を導入したところ、清掃箇所をきれいな状態で長期間維持することができ、結果的に約1000万円のコスト削減につながりました。予算承認には長い時間がかかりますので、最初は当社が費用を全額負担する形で、さまざまなお客様に試験的に導入していただき、その効果をご説明していきました。おかげさまで、この実績が高く評価され、当社を立ち上げた翌年と翌々年、大手不動産会社から2年連続で表彰していただくことができたんです。

名高 それは素晴らしい。お話をうかが

っていると、武田社長の強みは製品を使いこなす技術力だけでなく、固定観念を打ち壊す行動力にあると感じました。

武田 ありがとうございます。清掃業界では、新しい機材や製品にお金をかけたくない業者が多く、40~50年同じやり方が続けられてきました。しかし、それでは技術的な進化は見込めません。だからこそ私は、新しいテクノロジーやケミカル製品を積極的に取り入れていきたいと考えているんです。

人とテクノロジーの共存

名高 武田社長は清掃という仕事に、独自の哲学をお持ちだと感じます。そして、そんな社長だからこそ、業界を変えるための施策を自由な発想で生み出せるのでしょうかね。

武田 清掃業に対してなんとなく、誰もやりたがらない仕事というイメージをお持ちの方も多いと思います。しかし私は、清掃業は日本の文化や精神性と深く結びついていると考えているんです。例えば、江戸時代には、糞尿を肥料として活用するリサイクルシステムが機能しており、町の衛生環境が保たれていました。これは同じ時代のヨーロッパで、不衛生な環境から疫病が蔓延していたのとは対照的です。このように、清潔さへの誠実な向き合い方が、日本人の精神性そのものをつくってきたのだと思うんです。です

から、そういう歴史的な背景や日本人の衛生観念をもとに、ただ作業をこなすだけでなく、意味を理解して誇りを持って働く精神を、当社の重要な柱にしています。

名高 なるほど。インバウンドで訪れる外国人が「なぜ日本の街はこんなにきれいなんだ」と驚くのも、そういう積み重ねがあるからこそなのでしょうね。今後の展開についても、ぜひおうかがいしたいです。

武田 今後は、人とテクノロジーの共存をテーマに、業界の当たり前を変えていきたいと考えています。具体的には、危険を伴う外装クリーニングをドローンで代替したり、3人で行っていた清掃作業を人1人とロボット1台(作業員2人分)の仕様に置き換えたりと、既に現場への導入を進めているんです。人間が得意なことは人間が、機械が得意なことは機械が担う仕組みを、データを積み重ねながら各企業に提案していきたいですね。

名高 業界全体に新しい風を吹き込もうとお考えなのですね。

武田 はい。また、清掃業以外の分野にも裾野を広げていまして。現在は、実家が広島・尾道で営む建具店のブランディングを強化し、日本文化の一つとして海外に発信していくことも構想しています。清掃業界の地位向上と日本の職人文化の継承、その両方で大きな成果を出せたら嬉しいですね。



Company Data

株式会社NBSマネジメント

〒170-0013
東京都豊島区東池袋 2-20-9
OS サンプラザビル 2F
<https://nbsm.co.jp>